

我々の ミッション

我々のミッションは、日本フォトニクス協議会の幅広い活動を通じて、光技術の発展と光ビジネスの創出・確立を図ることです。具体的には関連団体、機関、企業と適切に連携しながら、我が国の光に関するこれまでの実績とノウハウをベースに新しいニーズを発掘し、加えてそれを実現するシーズ技術を開発します。そしてこれらの活動成果として、光技術立国日本を再構築し、グローバルな視点で人類の幸せに貢献することです。

また同時に光技術の立場から環境保護と資源エネルギーに関する提言を行い、地球に優しいグリーン・テクノロジーの普及を推進します。

我々の ビジョン

我々日本フォトニクス協議会は、以下のビジョンを光技術関係者で共有し活動しています。

我々のビジョンは、我々のミッションに賛同し、活動する個人・企業・団体が連携し、新たな価値を創造し、かつ共有できるNPO法人であることを目標としています。

光技術の範囲は幅広く、我が国の研究・技術開発も時代の要請と共に発展してきましたが、従来のやり方では専門分野に限られていましたので横の連携が少なく、社会貢献や影響範囲は限られ、その活動も継続的であるとはいえませんでした。

日本フォトニクス協議会は、幅広い光技術の専門家の知恵と活動を結集し、協力することで、光技術の専門分野に横串を貫き、新しい技術立国日本におけるNPOのモデルを構築いたします。



日本フォトニクス協議会

入会申込書

年 月 日

「日本フォトニクス協議会」の趣旨に賛同し、
_____月より、下記の通り入会申込みます。

会員種別	年会費	申込口数
法人正会員	1口 48,000円	<input type="checkbox"/>
個人正会員	1口 9,600円	<input type="checkbox"/>
賛助会員	1口 60,000円	<input type="checkbox"/>

※年会費は入会月から当会年度末の3月までの月割計算となります。
※個人でも現在、企業に属している場合は、法人正会員としてご入会ください。個人正会員の対象は、大学、官公庁、未法人化の個人事業主に限りません。

氏名	
連絡先	※連絡先は(勤務先・自宅)←いずれかに○を付けてください 〒
勤務先名	※連絡先が自宅の場合もご記入ください
部課名	
TEL	
FAX	
E-mail	
ホームページ	http://

※コピーをとってご使用ください。ホームページからもお申込みいただけます。

特定非営利活動法人 **日本フォトニクス協議会**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 サンケンビル1F
TEL 03-5228-3541 FAX 03-5229-7253
E-mail:jpcinfo@j-photonics.org
http://www.j-photonics.org

2014.10.6 PM



特定非営利活動法人

日本フォトニクス協議会

Japan Photonics Council (JPC)

<http://j-photonics.org/>

ご入会のおすすめ



理事長 羽鳥光俊

東京大学 名誉教授
国立情報学研究所 名誉教授

「20世紀最大の発明」とも言われるレーザーが1960年に登場して以来、50有余年の年月が過ぎました。この間、日本の光産業は飛躍的に発展し、ご承知のとおり日本が有する光技術に関するアイデア、ノウハウ、教育システム、生産技術、デバイス技術およびそれらを有する人材や企業は世界のトップレベルにあります。

日本フォトニクス協議会では今日まで培ってきたこれらの貴重な光関連の人材や企業を結集し、グローバルかつ自由な視点で我が国のこれからの光技術開拓と光ビジネス戦略を考え、その展開をはかる事が最重要課題と考えています。

具体的には、光通信、画像、光計測、太陽電池、光メモリ、光加工、照明、光学といった個々の分野にとらわれることなく、それぞれが独自に育んできた専門性の高い分野と、ITなど他分野の技術を適所に交流・融合させ、さまざまな活動成果を求めてゆく所存です。

事務局



理事長	羽鳥光俊	東京大学 名誉教授
副理事長	中井貞雄	大阪大学 名誉教授
	黒田和男	宇都宮大学 教授
	谷田貝豊彦	宇都宮大学 教授
理事(50音順)	青崙 耕	旭硝子
	天野 浩	名古屋大学 教授
	伊熊敏郎	エコ環境事務所
	池澤直樹	野村総合研究所
	上野直樹	オプトロニクス社
	江上浩二	オフィストリプルB
	岡田佳子	電気通信大学 准教授
	小椋行夫	OPIC事務局
	河合 滋	オプトイーカレッジ
	小檜山光信	テックウェーブ
	近藤宣之	日本レーザー
	武田光夫	宇都宮大学 教授
	波平宜敬	琉球大学 教授
	西澤紘一	諏訪東京理科大学 客員教授
	森戸祐幸	ユーヴィックス
	山本和久	大阪大学 教授
監事	植田 寛	植田寛税理士事務所
シニアアドバイザー	三木哲也	電気通信大学 理事
	張 吉夫	大阪府立大学 名誉教授
R&Dアドバイザー	梶岡 博	グローバルファイバオプティックス
ITアドバイザー	三田典玄	慶南大学 教授

活動内容

JPCフォーラム 定例研究会

本研究会では、光通信、レーザー、光学、光計測、光メモリ、光バiaoなど幅広い光分野の動向を調査研究し、それらの技術やシステムに対応できる光デバイス開発に向けての技術的課題を明確にしていまいます。同時にビジネス活性化のための提言を行い、かつグローバルな視野に立った判断を行うため、国内外の関連団体と連携し、技術交流、情報交流および各種アライアンスを行なっています。



光ビジネス・技術動向調査に関する定例研究会(隔月開催)やセミナー及び情報懇談会の開催、Webサイトでの会員相互の情報発信・情報交換、あるいは会員外も含めたヒューマンネットワークの形成、企業間の技術協力、ビジネス連携などの活動を行ないます。

産業用LED応用研究会

本研究会は、産業用LED技術・応用製品の開発と我が国の関連企業活動の活性化に貢献し、グリーン・テクノロジー、安全など社会的ニーズに沿った企業活動の支援を行なうことを目的としています。国内外の産業用LEDの現状と将来についての議論と調査研究を行ない、今後の技術的課題とビジネス課題を明確にし、企業間あるいは産学間の業務連携を支援・推進し、成果をあげると共にその成果を広域的にPRすることを目指し、LEDビジネスと技術動向調査に関する定例研究会やセミナー、見学会、WEBサイトやメール配信を活用した情報発信・情報交換等を行なっています。

光無線通信システム推進協議会(ICSA)

光無線通信システムには、電磁ノイズに強く、高いセキュリティを確保できるというメリットがあるほか、LANや通信端末等において高速・広帯域の伝送路を経済的に実現可能であるという特徴があります。今後光無線通信システムが果たすべき役割を多角的に検討し、その標準化、普及促進を図ります。

JPC関西

経済的、技術的基盤を有する関西地域(大阪・京都・滋賀・奈良・兵庫・和歌山、近県)での光技術の発展、光ビジネスの創出などを推進する支部活動

JPC紫外線研究会(専門委員会)

紫外線は大きな応用可能性を持つ波長域であるにもかかわらず、これまで紫外線の利用推進のため継続的に研究する場がありませんでした。そこでJPCでは紫外線領域の産業応用の技術研究、ビジネス機会の創出、拡大を推進する研究活動を行います。

有機フォトニクス応用研究会(専門委員会)

先進的光技術やグリーン・テクノロジーを実現する光機能性有機材料や部材及びその応用にフォーカスする活動を行ないます。

産学連携研究推進、光ビジネス創成

産学連携研究の斡旋紹介、人事交流、推進および管理、産学官連携、シーズ調査、ニーズ開拓

人材育成・活用、人材紹介

学習プログラムの体系化と策定、イーラーニング、人材紹介

セミナー、イベント

定例・特別セミナー、フォーラム、展示会、見学会、シンポジウム

※主催展示会実績

レンズ設計・製造展／赤外・紫外応用技術展／宇宙・天文光学EXPO



国際ビジネス推進

海外動向視察、国際交流、国際ビジネスアライアンス、国際会議

教材・出版企画・広報

教材、出版企画、翻訳、会報、Webサイト、成果報告

有識者データベース、コンサルテーション

専門化登録、データベース作成、派遣、デバイス開発コンサルテーション、マーケットコンサルテーション

技術評価・政策提言、知財

専門家グループによる技術評価、関係官公庁等への政策提言、知財セミナー、知財相談、知財斡旋

分野別研究調査

研究テーマ設定、受託研究、マルチクライアント調査

年会費

会員種別	年会費
法人正会員	1口 48,000円
個人正会員	1口 9,600円
賛助会員	1口 60,000円

※年会費は入会月から当会年度末の3月までの月割計算となります。

会員の特典

1. 本協議会が主催又は協賛するセミナー、講演会やシンポジウムや展示会等に無料又は割引にて参加できます。
2. 研究会が委員会として固有のプロジェクトを展開することができます。会員が自ら契約主体となれないプロジェクトに関し、本協議会を活用することも可能です。
3. 本協議会が発行する会報、Webサイトなどにより光技術に関する情報の提供、並びに相談・コンサルティングを受けることができます。
4. 本協議会及び提携する団体の発行する書籍や刊行物を特別価格にて購入できます。
5. 本協議会のWebサイトを通して、貴社および貴社製品のPR活動が無料で行えます。
6. 本協議会が主催するビジネスマッチング商談会や産学連携イベントに優先的に参加できます。